







・若草山から観る奈良盆地の夜景↓



(記1) 新日本三大夜景 (しんにほんさんだいやけい) とは、夜景倶楽部の有志によって組織された非営利団体「新日本三大夜景・夜景100選事務局(代表 縄手真人)」が選定した、日本で特に美しい3か所の夜景。2003年4月に発表された。

- 皿倉山から望む、北九州市の夜景
- 若草山から望む、奈良市の夜景
- 山梨県笛吹川フルーツ公園から望む、甲府盆地の夜景 ((Wikipedia 最終更新日

2017.05.20)

2017年10月1日 カテゴリー： [フード](#), [物見遊山・旅](#) 投稿者：yuyu-sha

2017年10月3日のアーカイブ

相撲神社

先日、奈良県の桜井市を車で走っていると、目に留まったのが相撲神社。
中に入って看板の謂れを読んでもみると、相撲の起こりはここらしい。

相撲は約2000年前、この地において、野見宿禰（のみのすくね）と当麻蹶速（たいまのけはや）が、天覧相撲を行ったのに始まる。



2017年10月3日 カテゴリー：物見遊山・旅 投稿者：yuyu-sha

2017年10月4日のアーカイブ

安倍文殊院から畝傍山

先日、天理からの帰り、「三人寄れば文殊の智慧」で有名な安倍文殊院に立ち寄った。
場所は桜井市。

寺院の裏山から大和三山の一つ畝傍山（うねびやま）が望まれる。

三山の中では最も高い、と言っても198.8m。

他の二つは、天香具山に耳成山。



2017年10月4日 カテゴリー：物見遊山・旅 投稿者：yuyu-sha

2017年10月6日のアーカイブ

戻って来たタチウオ

太刀魚のサイズが随分大きくなった。

今まで釣れていた太刀魚たちと比べて一回りも二回りもサイズアップしている。

5月、北上する紀伊水道の太刀魚たちは大阪湾組と播磨灘組に分かれる。

大阪湾組は友ガ島から沿岸を奥へ奥へと進み阪神間でひと夏を過ごし、寒くなると南下を始める。その途中の太刀魚たちではないか？

それとも・・・。

この釣り場(津名港旧フェリー岸壁)にドラゴン級(1m以上)の太刀魚がやって来る日も近い。



2017年10月6日 カテゴリー：[あちこち淡路島](#) 投稿者：yuyu-sha

2017年10月8日のアーカイブ

[ラインの監視（劇団昴公演）](#)

1941年にブロードウェイで上演され、1943年にアメリカで映画化された「ラインの監視」の舞台化。

反ナチズム運動に命をかけたドイツ人（クルト・ミューラー）とその家族の深い絆をワシントン郊外のクルトの妻の実家に映し出す。

久しぶりに硬質な「新劇」を観た高揚感に包まれた。

（於 神戸文化ホール《中》 10月7日）

神戸演劇鑑賞会 10月例会
劇団昴公演

のライン 監視 Watch on the Rhine

登場人物

スタッフ
リリアン・ヘルマン
小田島雄志
原田一樹
(劇団キンダースペース)

作
翻訳
演出

美術 石原 敬
照明 古宮 俊昭
衣装 仲村祐紀子
音響 藤平美保子
舞臺 後藤 恭徳
監督



フニー・ファレリー
久保田 民絵
63歳くらいの裕福な未亡人。家柄や富を重んじるフーニーはサラとクルトの結婚に反対したため、母娘のわだかまりは20年近く経った今も解けていない。和解して娘達一家とここで暮らしたいと願っているが、両者の生活感情の違いは大きい。



デーヴィッド・ファレリー
高草 量平
フアレリー家の長男。独身で愛想の良い39歳。幼い頃マーと出会っている。亡父の法律事務所弁護士。



マート・デ・フランコービス
舞山 裕子
テックの妻。31〜32歳の魅力的なアメリカ人。家柄や社会的な地位を重んじる母親の意に従って、ルーマニア貴族と結婚。母親とフアーニーが親しかった縁を頼りにフアレリー家に逗留している。



テック・デ・フランコービス
金尾 哲夫
45歳くらいのルーマニア人の伯爵。没落した貴族で元外交官、アメリカに亡命。ドイツ大使館に出入りし、ナチスに通じている。クルトが反ナチス活動家の一味であることを突き止めた。クルトを脅迫する。

あらすじ

1940年晩春。ワシントン郊外の裕福なフアレリー家のリビングルーム。
女主人フアーニーが息子のデーヴィッドと共に、ドイツから20年ぶりに帰ってくる娘サラ一家を持って帰っている。屋敷には家政婦、黒人執事があり、ヨーロッパからの亡命貴族テックとその妻マートが宿泊している。

穏やかな日々が過ぎるかと思われたが、クルトの素性を怪しむテックは駐米ナチス独大使館と通じ、クルトが手配中の反ナチス地下活動家であることを突き止める。そこへ長距離電話。クルトは同志であり、友でもある活動仲間逮捕を知り……

「ラインの監視」とは
1870年の普仏戦争でドイツ兵は愛国歌「ラインの監視」を歌いながらライン河を越えフランスに進撃。戦争の勝利がこの歌の声価を高めた。第一次大戦を経て第二次大戦まで歌い継がれた。

ある時はドイツ国軍に、この舞台では真の愛国者は我々であると反ナチスの闘士によって歌われる。歌詞によってどのようにも歌われてきた歌である。

サラ・ミュラー



服部 幸子
フアレリー家の長女、11歳。クルトの妻。着古した無造作な服装から、頻繁な住居の移動と貧しい生活が見取れる。クルトの地下活動を支えるため長い放浪生活を続けてきたので、緊迫した国際情勢に疎い母と弟に対し、違和感を持っている。

クルト・ミュラー



石田 博英
47歳くらいの大柄なドイツ人。故郷で起こった1931年のナチスの市民弾圧・殺害を見て、これと闘う決意を固める。スベインの内戦では、共和政府側の国際義勇軍の一員として戦った。エンジニアを辞めて以降、反ファシストの地下活動に従事。ドイツ政府の手配者リストに載っている。

ジョシア・ミュラー



笹井 達規
サラの長男。11歳。祖父の名前を貰った。

バベット・ミュラー



小林 柚葉
サラの長女。12歳。料理や裁縫ができる。

ポード・ミュラー



横山 温人
9歳。電機器具の修理に興味がある。子供たちは両親を尊敬している。また、いろいろな国の言葉が話せる。

アリス



要田 禎子
フアレリー家の家政婦。60歳くらい。フランス生まれ。

ジョーゼフ



山口 嘉三
フアレリー家の中年黒人執事。

人間リリア

(二九)
ユダヤ系のニューオーリンズで大学を中退後、書評の執筆、の仕事に従事。A・コウパーにフランス・その他欧州各チズムなど新目の当たりに国際社会の現歸国後、推トと相愛の鳴いて、人間たな視点を確34年、子レ愛問題を扱間」で劇作家以後、金と権の争い(二チ家族の幸福と(ラインの監視)の独占が自由喜劇(屋根裏など、60年ま世に問うた。47〜52年、た思想弾圧産主義との闘が、召喚には己の所信を述一切の証言を述

2017年10月8日 カテゴリー：アート 投稿者：yuyu-sha

2017年10月9日のアーカイブ

天理教本部

過日、娘たちが住む天理に行った際、駅前から続く長い商店街を歩いた。

その先に大きくて立派な建物に出会った。

天理教の本部である。

天理市内の各所に北は北海道から南は九州まで全国津々浦々の地名を冠した詰所がある。

その一つ一つに威厳があり、天理の街を席卷している。

天理の街を歩いていて気づくのは、黒い法被の背中に天理教と染めた信者が街なかで清掃している姿をよく見かける。

一人ひとりの信者から受ける印象は礼儀正しく屈託がない。

通りすがりの印象だが、天理教は「チャンとした」宗教のような気がする。



2017年10月9日 カテゴリー：[物見遊山・旅](#) 投稿者：yuyu-sha

2017年10月11日のアーカイブ

[家族はつらいよ2](#)

日常を描いて現代をえぐる、山田洋次監督の独壇場。

高齢者の危険運転、無縁社会の孤独死……。

今の社会が抱える問題をユーモアとペースで描く。

監督・脚本：山田洋次

出演：橋爪功/吉行和子/西村雅彦/夏川結衣/中島朋子/小林念持/林家正蔵/妻夫木聡/蒼井優

/風吹ジュン

2017年/日本/113分

(於 湊川パルシネマ)



2017年10月11日 カテゴリー：アート 投稿者：yuyu-sha

2017年10月13日のアーカイブ

[遊覧船からアート鑑賞](#)

神戸開港150年記念事業の一つ、「港都神戸芸術祭」へ。

港巡りの遊覧船「シーバスファンタジー号」に乗船。

海の上から著名作家たちの作品を鑑賞。

その中で目を引いたのが摩耶埠頭の東港内に点在する円柱のケーソンに設置された西野康造氏の「風になるとき**2017**」と「そのむこう」。

氏は金属を素材に使い、「空気や風、そして大気の中で生きている人間たちも表現しようとする作家でもある(公式サイト)」。

9. 11後造られたニューヨークの「4ワールドトレードセンター」に氏の作品が設置されている。それは、半円形作品で**30m**の「スカイメモリー」。





2017年10月13日 カテゴリー：[アート](#), [ぶらっと神戸](#) 投稿者：yuyu-sha

2017年10月15日のアーカイブ

頂きもの

神戸に師匠からメールがあった。

「今日中に淡路へ帰るのなら魚おいておく」と。

頂いた3本のうち1尾はF4(指4本)の大物。

船からの太刀魚は大きいのが獲れる。

それを刺身にした。

あとの2本は明日、刺身と塩焼きにする予定。



2017年10月15日 カテゴリー：[あちこち淡路島](#), [人ありて](#) 投稿者：yuyu-sha

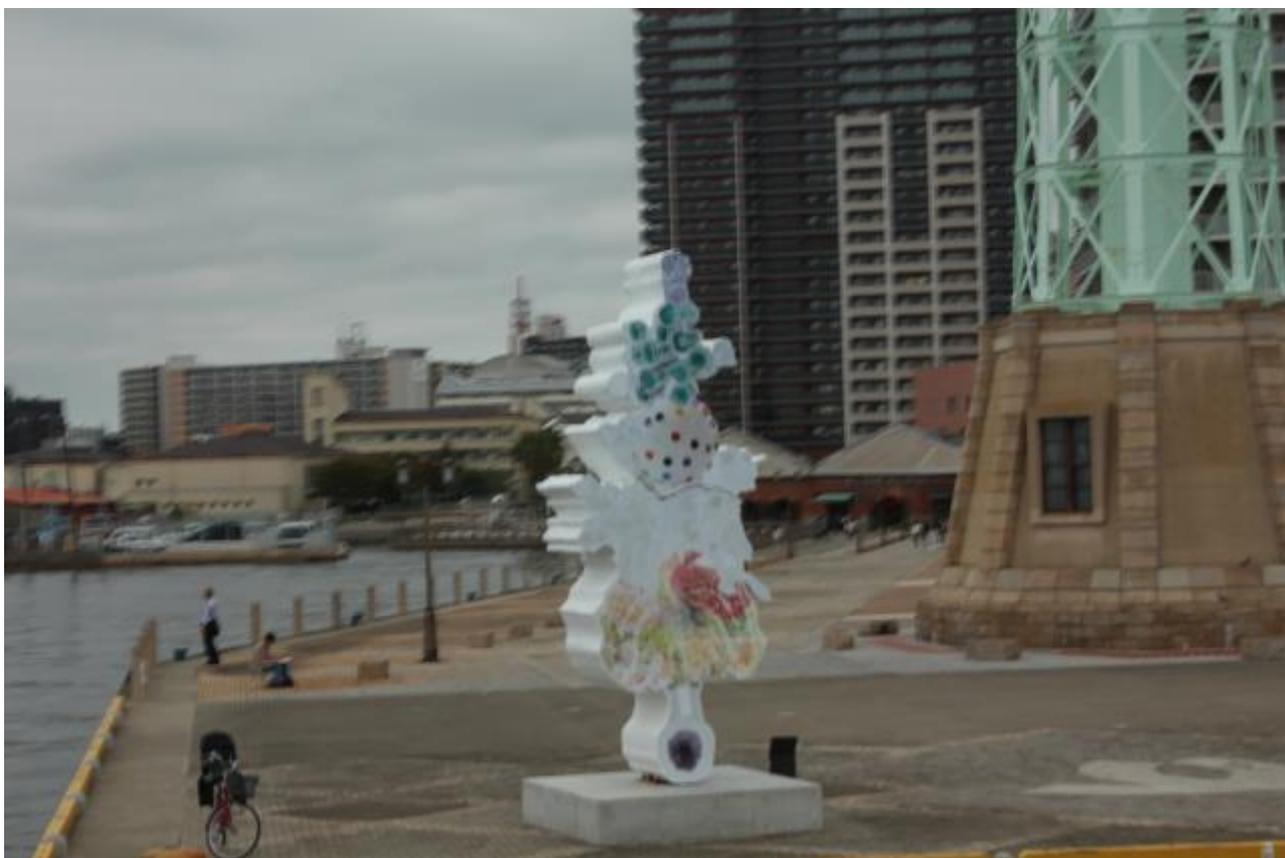
2017年10月16日のアーカイブ

[ミナトのメッセージ](#)

15日まで行われている「港都神戸芸術祭」の中から数点を紹介します。

船上からの撮影にもかかわらず船の揺れを考慮せず撮影したので、写真の多くがブレてしまった。船が止まってくれている時撮った写真を以下に掲載します。

・植松琢磨氏の作品「world tree」(高浜岸壁) ↓



★西野康造氏の作品「風になるとき2017」 Harmony with the Breeze 2017&

「そのむこう」 The Other Side (摩耶埠頭係船杭) ↓



・新宮晋氏の「ウインドキャラバン」WIND CARAVAN (新港第1突堤) ↓



2017年10月16日 カテゴリー：[アート](#), [ぶらっと神戸](#) 投稿者：yuyu-sha

2017年10月20日のアーカイブ

雨中の秋祭り

雨にたたれた新居浜の秋祭り。

旧市内の秋祭りのフィナーレは太鼓台の一宮神社への宮入り。

人けのない境内に屋台店のおじさんも淋しそう。

私とワイフは新装なった本殿に参拝。

ここに来る途中、健気にも宮入りを終えた1台に出会った。本日の宮入りはこの1台のみ。

そんな祭より、旧友の家でご馳走になりながら、昔話に花をさかせたことがこの上なく嬉しい。

・新装なった一宮神社本殿



・雨の中、宮入りを済ませた太鼓台



2017年10月20日 カテゴリー：[物見遊山・旅](#) 投稿者：yuyu-sha

「光」&「さざなみ」

・光

弱視のカメラマン(永瀬正敏)と音声ガイドの映画制作会社に働く若い女性(水崎綾女)の交流を奈良の深い自然と共に画いている。

消えゆくものが放つ一瞬の光芒を輝かせ、闇の彼方に一筋の光明を見いだす。

脚本・監督:河瀬直美

出演:長瀬正敏/水崎綾女

・さざなみ

結婚45周年パーティーを間近に控え、夫に昔の恋人疑惑。

彼女の心にざわめきが。

夫婦間に生じた誤解と齟齬を解くまでを丁寧に画いている。

・原題:45Years

・2015年/イギリス



2017年10月21日 カテゴリー：アート 投稿者：yuyu-sha

LION／ライオン(25年目のただいま)&しゃぼん玉

ライオン(25年目のただいま)

1986年にインドの草深い田舎で家族と生き別れになった幼な子が25年を経て母親と再会する迄の物語。

この四半世紀、変わりゆくインド社会と変わらぬ人の情が大地の土に浸みる。

以下は「パルシネマしんこうえん」から

『英国王のスピーチ』などのプロデューサー、イアン・カニングが製作に名を連ねた実録ドラマ。幼少時にインドで迷子になり、オーストラリアで育った青年が **Google Earth** を頼りに自分の家を捜す姿を追う。メガホンを取るのは、テレビシリーズや短編などを手掛けてきたガス・デイヴィス。『スラムドッグ\$ミリオネア』などのデヴ・パテル、『ドラゴン・タトゥーの女』などのルーニー・マーラ、名女優のニコール・キッドマンらが顔をそろえる。

・監督・脚本 ガス・デイビス

・出演 デヴ・パテル／ルーニー・マーラ／ニコール・キッドマン／デビッド・ウェンハム／サニー・パワール／アビシェーク・バラト

・制作年・国 2016年／オーストラリア／Lion

しゃぼん玉

変わらぬ人の世のぬくもりを平家の落人部落・椎葉村の美しい情景と共に描いている。

以下は「パルシネマしんこうえん」から

第115回直木賞受賞の「凍える牙」や、「水曜日の凱歌」などの人気作家、乃南アサの小説を基にしたヒューマンドラマ。強盗や傷害を重ねて逃亡中の青年が、ある老人と彼女が暮らす村の人々と触れ合ううちに再起を決意するさまが描かれる。監督はテレビドラマ「相棒」シリーズなどの東伸児。キャストには、林遣都、藤井美菜、綿引勝彦、市原悦子らが顔をそろえる。人と人の絆の尊さを見つめた物語に加え、ロケを敢行した宮崎県の美しい風景も見どころ。

・監督・脚本 東伸児

・出演 林遣都／市原悦子／藤井美菜／相島一之／綿引勝彦

・制作年・国 2016年／日本

情報源: [パルシネマしん](#)



[こうえん](#)

2017年10月27日 カテゴリー: [アート](#) 投稿者: yuyu-sha

2017年10月29日のアーカイブ

[「神戸職場人合唱団 かがり火」演奏会](#)



台風22号が神戸に影響を与える中、鈴蘭台から車で

神戸文化ホールへ。

合唱団「かがり火」の定期演奏会。

同演奏会は今年で40回を迎えた。

廃団に追い込まれるアート集団も多い中、ここまで続けて来られたことに敬意を表す。

演奏を聴きながら思う。

素人目（耳）で申し訳ないが、年々上手になっているように感じる。

今後の活躍を祈っています。

演奏会が終わってホールの外に出ると雨はもうあがっていた。

神戸職場人合唱団 **かがり火** 第40回定期演奏会

〈第1ステージ〉

たんぼぼ / 作曲 新実 徳英
みやこわすれ / 作曲 千原 英喜 他

〈第2ステージ〉

夜なかの風 / 作曲 野嶋 元 他
客演指揮 森田 二郎

〈第3ステージ〉

津軽海峡・冬景色
何度でも
ありがとう 他

〈第4ステージ〉

混声合唱曲「わたしの願い」
作詩 高野 喜久雄 / 作曲 高田 三郎
客演指揮 森田 二郎

2017年**10月29**日(日) 開場 13:30 / 開演 14:00
神戸文化ホール<中ホール>

入場料	一 般 1200円
	高校生以下 1000円

主催：神戸職場人合唱団かがり火 <http://www.kobe-kagaribi.jp> 問合せ先：杉岡 TEL 090-1718-3319 (夜間)
後援：神戸市／神戸市教育委員会／神戸新聞社／サンテレビジョン／(公財)神戸市民文化振興財団／兵庫県合唱連盟
※出演者への花束、プレゼントはご遠慮申し上げております。

2017年10月29日 カテゴリー：[アート](#) 投稿者：yuyu-sha